

2020年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

世 界 史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 2 次の文章A、Bを読み、文中の空欄 (a) ~ (i) に適切な語句を入れなさい。また、後の (1) ~ (8) の問いに答えなさい。

A 漢代には、辺境の軍隊が食料を自給するための (a) がみられた。三国時代の魏は、既に知られていたこの (a) を活用し、兵士ばかりでなく一般農民も官有地の集団耕作者に組み入れて租税をとり、有力な財源とした。

南北朝の分裂を統一した隋は、北魏で開始された土地制度である均田制を行った。唐は隋の諸制度を継承して整備し、土地制度の①均田制、税制の租調庸制、兵制としての (b) を採用し、律令国家の確立を目指した。しかし、時代の変化とともに、こうした律令制も改めざるを得なくなった。唐は財政再建のため、780年、租調庸制に代わって②両税法を採用した。また、塩の専売も重要な財源となり、密売者は厳しく取り締まられた。

五代十国の戦乱の時代には、貴族はその経済上の基盤である荘園を失い、没落していった。新興の地主層は、買い集めた土地を小作人に貸して小作料をとる方式で経済力をのばし、(c) と呼ばれる新勢力となっていった。北宋は契丹、西夏など北方民族の圧迫を受け、防衛費の増大による国家財政の窮乏が大きな課題であった。11世紀後半、神宗に宰相として起用された③王安石は新法と呼ばれる一連の改革を行った。だが、地主や大商人の利益をおさえて政府の収入増加を目指す改革に対しては反発する官僚たちも多く、その急激な改革をめぐる支持派と反対派との党争が長く続き、国力を弱めることとなった。

明は、農村で全国的な人口調査を基礎に里甲制を実施し、租税台帳である賦役黄冊や土地台帳である (d) を整備した。16世紀には各種の税や徭役を銀に一本化して納入する (e) の改革が実施された。続く清では、④18世紀前半に地丁銀制に改めて、税制の簡略化をはかった。

- (1) 下線部①について、唐代半ばに均田制が破綻した理由を説明せよ。
- (2) 下線部②について、両税法の内容を説明せよ。
- (3) 下線部③に関して、王安石の新法に反対して閑職につき、史書『資治通鑑』を編纂した人物の名前を書け。
- (4) 下線部④に関して、以下のグラフは、清代に把握された人口の推移を示したものである。生徒から、「1717年と比べ、1749年以降のグラフでは人口が急激に増えているのはなぜか」と質問があった。この生徒の質問に対して、どのような解説をするか書け。

B 李自成が明を滅ぼすと、明の武将（f）は清軍に降伏し、清軍は長城内に入って北京を占領し、中国全土へ支配を広げた。清は中国統治にあたって、官制においては明の制度をほぼ受け継ぎ、科挙も引き続き実施した。一方で、清の皇帝は、中国歴代王朝の伝統を継ぐ皇帝であると同時に、満州人やモンゴル人にとっては、モンゴル帝国のハンの伝統を継ぐ北方遊牧社会の君主でもあった。清の前半には、⑤康熙、雍正、乾隆と有能な皇帝が続き、彼らはこの二つの面を兼ね備えて独裁的な権力をふるった。

19世紀、人口の増加による社会の変動や欧米勢力の積極的進出といった新しい状況が生まれると、実務派の漢人官僚が内政や外交で活躍するようになった。道光帝から欽差大臣に任じられ、広州に派遣されてアヘンの取り締まりに当たった（g）は、その代表である。さらに洪秀全を指導者とする太平天国の乱がおこると、曾国藩や李鴻章が鎮圧に功績を挙げ、政界で活躍した。彼ら漢人官僚が推進したヨーロッパの近代技術の導入による富国強兵運動は、洋務運動と呼ばれる。しかし、⑥清仏戦争や日清戦争の敗北によって、⑦その運動の限界が明らかとなった。

日清戦争敗北の衝撃のなかで、中国では日本の明治維新にならった根本的な制度改革を主張する意見が台頭した。その中心となった公羊学派の康有為は、1898年に光緒帝を説得して政治の革新を断行させた。しかし、改革に反対する保守派は、同治帝の母である（h）と結んでクーデタをおこし、改革は失敗に終わった。

この改革が失敗したとはいえ、体制変革が避けられないことは明らかであり、⑧義和団事件後、光緒新政と呼ばれる新たな改革が始められ、科挙の廃止、憲法大綱の発表と国会開設の公約などが進められた。一方、海外では華僑や留学生を中心に清朝の打倒をめざす革命運動が盛んになっていた。1911年に武昌の軍隊のなかにいた革命派が蜂起し、辛亥革命が始まった。革命軍は、アメリカ滞在中に革命の勃発を知り帰国した（i）を臨時大総統に選出し、南京で中華民国の建国を宣言した。

清は、実力者の袁世凱を起用して革命側との交渉に当たさせたが、清を見限った袁世凱は皇帝の退位と共和政の維持を条件として（i）から臨時大総統の地位を譲り受け、北京で就任した。1912年、宣統帝の退位により、二千年以上にわたる中国の皇帝政治は終わりを告げた。

(5) 下線部⑤について、以下の出来事のうち、康熙帝の時代に行われたことをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 『四庫全書』など大規模な編纂事業をおこす一方、禁書をおこなって思想を統制した。
- イ ジュンガルを滅ぼして東トルキスタン全域を占領し、これを新疆と命名した。
- ウ 皇帝直属の諮問機関として軍機処を設置した。
- エ 三藩の乱を平定し、鄭氏を降伏させて台湾を領土とした。

(6) 下線部⑥について、以下の出来事のうち、清仏戦争の結果、清が認めたこととして正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 香港島の割譲、上海など5港の開港、公行の廃止を認めた。
- イ ベトナムの宗主権を放棄し、ベトナムに対するフランスの保護権を認めた。
- ウ 外国公使の北京駐在、キリスト教布教の自由を認めた。
- エ 朝鮮の独立の承認、遼東半島の割譲を認めた。

(7) 下線部⑦について、洋務運動の限界について説明せよ。

(8) 下線部⑧について、義和団が掲げた排外主義のスローガンを書け。

- 3 次の文章A～Cを読み、文中の空欄（a）～（g）に入る適切な語句を以下の語群ア～チよりそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。また、後の（1）～（7）の問いに答えなさい。

語群

ア：カビール	イ：バーブル	ウ：アンカラ	エ：ワールシュタット
オ：サマルカンド	カ：イスファハーン	キ：マラーター	ク：アッバース1世
ケ：アリー	コ：イスマーイール	サ：ナーナク	シ：バグダード
ス：トゥール・ポワティエ間	セ：アブー＝バクル	ソ：ハールーン＝アッラシード	
タ：ヴィジャヤナガル	チ：ウマル		

A ①メッカ出身のクライシュ族の商人ムハンマドは、7世紀初めに唯一神アッラーのことばを授けられた預言者であると自覚し、②イスラームの教えを説いたが、メッカでは受け入れられなかった。迫害を受けたムハンマドは③622年、少数の信者を率いてメディナに移住し、ここにイスラームの共同体を建設した。その後ムハンマドはメッカを征服し、ムハンマドの権威のもとにアラビア半島のゆるやかな統一が実現された。

ムハンマドの死後、共同体の指導者の地位を継承したカリフの指導のもと、大規模な征服活動を行い、東方ではササン朝を滅ぼし、西方ではシリアとエジプトをビザンツ帝国から奪った。カリフ権をめぐるイスラーム教徒間に対立がおこり、第4代カリフの（a）が暗殺されると、シリア総督であったムアーウィヤは、ダマスクスにウマイヤ朝をひらき、カリフ世襲化の道を開いた。

ウマイヤ朝も積極的に領土拡大を行い、東方はソグディアナとインド西部、西方は北アフリカを征服し、イベリア半島に進出し、西ゴート王国を滅ぼした。その後、しばしばフランク王国に侵入したが、（b）の戦いに敗れ、ピレネー山脈の南に退いた。

- (1) 下線部①について、6世紀後半にメッカが繁栄した理由を、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

オアシスの道	アラビア半島西部
--------	----------

- (2) 下線部②に関して、イスラーム教について述べた次の文のうち、正しいものをア～エからすべて選び、記号で答えよ。

ア 聖典『コーラン』は、ムハンマドにくだされた神のことばの集成であり、アラム語で記されている。

イ ムハンマドは、『旧約聖書』をイスラーム教に先立つ啓示の書と認めたため、ユダヤ教徒には最初から信仰の自由を認めたが、キリスト教徒には認めなかった。

ウ 六信とは、神、天使、啓典、預言者、来世、神の予定を信じることである。

エ 五行とは、信仰告白、礼拝、喜捨、断食、メッカ巡礼を実践することである。

- (3) 下線部③について、この出来事を何と呼ぶか書け。

B ウマイヤ朝は、アラブ人が支配者集団を形成し、④征服地の先住民とは異なる特権を与えられるという、いわばアラブ帝国であった。『コーラン』には、すべての信者は平等であると説かれているため、征服地の新改宗者はウマイヤ朝の政策をイスラームの教えに反するとみなし、またアラブ人の中にもウマイヤ朝による排他的な支配を批判するものが出てきた。このような人々がムハンマドの叔父の子孫であるアッバース家の革命運動に協力し、750年にウマイヤ朝は滅亡し、アッバース朝が開かれた。第2代カリフのマンスールは、肥沃なイラク平原に首都(c)を建設した。アッバース朝では、アラブ人の特権はしだいに失われ、非アラブ人も官僚として登用されるようになった。ウマイヤ朝はアラブ帝国であったが、その領土を受け継いだアッバース朝はいわばイスラーム帝国であった。

アッバース朝の成立後、ウマイヤ朝の一族はイベリア半島に逃れ、756年にコルドバを首都とする後ウマイヤ朝を開いた。アッバース朝では、第5代カリフの(d)の治世に黄金時代を迎えたが、その死後から領内の各地で事実上の独立王朝が自立するようになった。アッバース朝のカリフは自己の権力の強化のため、⑤トルコ人の軍人奴隸を用いるようになり、トルコ人がイスラーム帝国で活躍する道をひらいた。しかし、軍事力の強化にもかかわらず、イスラーム国家の分裂の潮流は、動かしがたいものとなっていた。

- (4) 下線部④について、ウマイヤ朝の時代に征服地の先住民だけに課された税を2つ書け。
- (5) 下線部⑤について、9世紀初め頃からアッバース朝カリフが用いたトルコ人の軍人奴隸はアラビア語で何と呼ばれたか書け。また、カリフがトルコ人の軍人奴隸をどのように用いたか説明せよ。

C 16世紀に入ると、ティムールの子孫(e)が、カーブルを本拠にして北インドに進出しはじめた。1526年のパーニーパットの戦いでデリー＝スルタン朝最後のロディー朝を破り、ムガル帝国の基礎を築いた。帝国の実質的な建設者は第3代皇帝のアクバルであり、彼は首都をアグラに移し、中央集権的な統治機構を整えた。

宗教においては15～16世紀に、イスラームとヒンドゥーの両宗教の融合をはかる信仰が盛んになった。(f)は愛と献身により神とともに生きることでカーストの区別なく解脱できることを説き、シク教の祖となった。文化面でも融合がすすみ、イラン出身者やインド各地から画家が招かれ、ムガル絵画と呼ばれる細密画が多数生み出された。また建築においても、⑥インド様式とイスラーム様式が融合した壮大な建築が現在に残された。

第6代皇帝アウラングゼーブの時代には、帝国の領土は最大となった。しかし、⑦アウラングゼーブがアクバル以来の政策を転換させたことで、その治世は大きくゆらぐことになった。各地で反乱がおこり、地方勢力が着実に力をつけて独立への動きを示した。シヴァージーが建てたヒンドゥー国家である(g)王国は帝国との抗争を繰り返した。18世紀初めにアウラングゼーブが死去すると、ムガル帝国は解体に向かい、ベンガルやデカンをはじめとして、各地に独立政権が生まれた。

- (6) 下線部⑥について、ムガル皇帝シャー＝ジャハーンが妃のために造営した墓廟で、インド＝イスラーム建築の代表とされる建築物の名称を書け。
- (7) 下線部⑦について、アウラングゼーブの政策を第3代皇帝アクバルの政策と比較して説明せよ。

- 4 次の文章A～Cを読み、文中の空欄(a)～(1)に適切な語句を入れなさい。また、後の(1)～(9)の問いに答えなさい。

A ①前4世紀、ギリシア人の一派であるマケドニアが(a)のもとで軍力を強め、前338年(b)の戦いでテーベとアテネの連合軍を破った。

(a)の子であるアレクサンドロス大王は、マケドニアとギリシアの連合軍を率いて前334年、東方遠征に出発した。大王は、イッソスの戦いでペルシア王(c)を打ち破ったのち、エジプトを征服した。ついでアルベラの戦い(前331年)に勝利してペルシアを滅ぼし、さらに軍をすすめてインド西北部までいたり、東西にまたがる大帝国を築いた。大王が急死した後、その領土は(d)(後継者)と呼ばれる部下の将軍たちによって争われ、やがてアンティゴノス朝マケドニア、②セレウコス朝シリア、プトレマイオス朝エジプトなどの諸国に分裂した。大王の東方遠征から、もともと長く存続した③プトレマイオス朝エジプトの滅亡(前30年)までの約300年間を、ヘレニズム時代と呼ぶ。この時代には④ヘレニズム文化と呼ばれる独自の文化がうまれた。また、ポリスの枠にとらわれない生き方を理想とする(e)の思想が知識人のあいだに生まれ、エジプトのアレクサンドリアは、経済・文化の中心都市として大いに栄えた。

- (1) 下線部①について、この時代における情勢について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 共和政ローマではリキニウス・セクスティウス法が制定され、コンスルのうち一人は平民から選ばれるようになった。

イ 北メソポタミアでは、ミタンニ王国に一時服属したアッシリアが全オリエントを統一した。

ウ エジプトでは、アメンホテプ4世が従来神々の崇拝を禁じて唯一神アトンを信仰する改革をおこなった。

エ 地中海東岸ではユダ王国が新バビロニアに征服され、ユダ王国の住民の多くがバビロンに連れ去られた。

- (2) 下線部②について、この王朝から遊牧イラン人の族長アルサケスが前3世紀半ばに自立して建国した国名を答えよ。

- (3) 下線部③について、この王朝が滅亡する原因となった具体的事柄について、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

アントニウス	前31年
--------	------

- (4) 下線部④に関して、次の資料1は、授業で「ヘレニズム文化が仏教に与えた影響」をテーマとして作成した板書例の一部である。生徒の理解を支援するため、次の語句を用いてIに入る適切な板書例を完成させよ。ただし、時代と地域に着目すること。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

クシャーナ朝

資料1 (板書例)

《ヘレニズム文化が仏教に与えた影響》

○それまでのブッダに対する認識：おそれ多いもの

⇒仏像はつくられず



○ヘレニズム文化の影響による変化：

I

○この仏教美術のその後：大乘仏教とともに各地に伝えられる
中央アジアから中国・日本にも影響

B 西ローマ帝国滅亡後、東ローマ皇帝は唯一の皇帝としてゲルマン人たちからも高い権威を認められていた。6世紀半ば、⑤ユスティニアヌス帝は北アフリカの (f) 王国やイタリアの (g) 王国を滅ぼして一時的に地中海のほぼ全域にローマ帝国を復活させた。

しかし、ユスティニアヌス帝の死後、新たな外民族の侵入が始まった。バルカン半島ではスラヴ人やトルコ系遊牧民の (h) 人の侵入があいつぐ中でビザンツ帝国はしだいに支配圏を縮小させていった。13世紀前半には⑥第4回十字軍が首都を奪うなど、国内は混乱した。

初期のビザンツ帝国ではコロヌスを使った大土地所有制度が支配的であったが、7世紀以降軍管区制がしかれた。公用語は7世紀以降 (i) 語が用いられ、美術ではドームとモザイク画を特徴とするビザンツ様式の教会建築が有名であった。

(5) 下線部⑤について、この皇帝の時代、どのような産業が盛んとなったか、中国からもたらされた技術に言及しながら説明せよ。

(6) 下線部⑥について、提唱者に触れながら次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

ヴェネツィア

ラテン帝国

C 1613年にミハイル＝ロマノフを祖とするロマノフ朝が成立したロシアでは、専制支配と農奴制が強化されていった。⑦ロシアは、17世紀末には中国との国境を定め、また、18世紀前半には北欧の強国との戦争に勝利してバルト海の覇者となった。

18世紀後半に帝位についたエカチェリーナ2世の時には、南方はクリミア半島をオスマン帝国から奪い、東方ではオホーツク海まで進出し、日本にも (j) を団長とする使節を送った。エカチェリーナ2世は治世の初期には啓蒙専制君主として種々の改革を試みたが、(k) の農民反乱の後は貴族と妥協して農奴制を強化した。

19世紀のロシアではなお専制政治と農奴制が強固であり、バルカン半島や⑧イラン方面への南下政策を進めた。1890年代からは (l) からの資本導入によりロシアの資本主義は発展したが、工場での労働条件は劣悪であった。⑨20世紀に入ると、それまで平穏であった農村で、農奴解放後も地主への従属が続くことに抗議する激しい農民運動がおこり、知識人や社会主義者の中からも専制体制の転換を求める声次第が高まっていった。

- (7) 下線部⑦について、当時のロシア皇帝の名前を挙げながら、次の語句を用いて具体的に説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

スタノヴォイ山脈 カール12世

- (8) 下線部⑧について、次の資料2は1828年に締結された条約の一部である。この条約名と、当時のイランの王朝名を書け。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料2

(歴史学研究会編『世界史史料8』岩波書店)

- (9) 下線部⑨について、20世紀における世界の情勢について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア イギリスでは、1945年に労働党のアトリーが首相となり、社会福祉制度の充実をはかった。
 - イ 中国では、1949年に毛沢東を国家主席、劉少奇を首相とする中華人民共和国の成立が宣言された。
 - ウ エジプトでは、1956年にナギブ大統領がスエズ運河の国有化を宣言した。これに対し、イギリス・フランス・イスラエルはエジプトに軍事行動をおこした。
 - エ ソ連では、行き詰まった社会主義体制をたて直すため、1985年にソ連の書記長に就任したフルシチョフが情報公開による言論の自由化や国内の改革を提唱した。
- 5 「紛争防止への国際的取組の歴史的経緯と課題」という主題で、生徒が以下の資料A、資料Bを活用して追究する授業を構想したい。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

(歴史学研究会編『世界史史料12』岩波書店)

資料B

(『ドイツ・フランス共通歴史教科書【現代史】』明石書店)

- (1) ルワンダにおける紛争防止への国際的取組の歴史的経緯を生徒に理解させたい。資料Aと資料B中の波線部から、教師として生徒に読み取らせたいことを簡潔に書け。
- (2) 下線部①について、この出来事について、簡潔に説明せよ。
- (3) 下線部②について、1970年代にカンボジアで成立した急進左派政権で、都市から農村への強制移住、反対者の大量虐殺などをおこなった政権の名前を書け。
- (4) 下線部③について、6つの共和国からなる旧ユーゴスラヴィア（ユーゴスラヴィア社会主義連邦共和国）が1990年代に解体に向かった背景を、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

民族 ソ連

6 18世紀後半に独立を達成したアメリカ合衆国は、19世紀以降に民主主義の基盤を固めつつ領土拡大を進め、ヨーロッパ人移民を中心とする国民国家体制を整えていった。国家分裂の危機を乗り越え工業化を進め、19世紀末には世界第1位の工業国となった。それと同時に、西部でフロンティアが消滅するにつれ、海外への進出を目指す帝国主義政策を求める声が高まっていった。

以上のことを踏まえ、19世紀におけるアメリカ合衆国の発展について、因果関係に留意しつつ次の語句をすべて用いて300字以内で記述せよ。なお、それぞれの語句を初めて使用した箇所に下線を付すこと。算用数字は1マスに2桁まで可とし、国名は漢字略称を使用してもよい。

米英戦争 マッキンリー 強制移住法 保護貿易 大陸横断鉄道

科 目	世界史解答用紙	2枚中の1	受験 番号	氏 名
--------	---------	-------	----------	--------

(2020年)

1

i	
ii	

2

a		b		c	
d		e		f	
g		h		i	
(1)					
(2)					
(3)					
(4)					
(5)		(6)			
(7)					
(8)					

3

a		b		c	
d		e		f	
g					
(1)					
(2)		(3)			
(4)					
(5)	(名称)	(説明)			
(6)					
(7)					

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	世界史解答用紙	2枚中の1	受 験 番 号	氏 名
--------	---------	-------	------------------	--------

(2020年)

1 【5点】

i	(例) 紅茶が産業革命時代のイギリスで普及した歴史的背景について	【1点】
ii	(例) 私たちの日常生活にとけこんでいる紅茶が、世界の一体化によりイギリスにもたらされたことについて理解する。	【2点】
	(例) 紅茶の普及と産業革命時代のイギリス社会との関連性について考察し、表現する。	【2点】

2 【24点】

【各1点】

a	屯田制	b	府兵制	c	形勢戸
d	魚鱗図冊	e	一条鞭法	f	呉三桂
g	林則徐	h	西太后	i	孫文
(1)	人口の増加や商業の発達にともない農民のあいだに貧富の差が開き、没落して逃亡する農民が増えたから。				
	【2点】				
(2)	現実に所有している土地に応じて夏・秋2回の税を課すもの。				
	【2点】				
(3)	司馬光	【2点】			
(4)	地丁銀制によって人頭税が消滅したことにより、それまで税から逃れていた人々が戸籍登録を行うようになり、統計上の人口が急増したと考えられるため。				
	【3点】				
(5)	エ	(6)	イ	【1点】	
(7)	中国の伝統的な道徳倫理を根本としながら西洋技術を利用するという「中体西用」の立場をとっており、国家や社会の制度の大きな変革を目指すものではなかった。				
	【2点】				
(8)	扶清滅洋	【2点】			

3 【23点】

【各1点】

a	ケ	b	ス	c	シ
d	ソ	e	イ	f	サ
g	キ				
(1)	ササン朝とビザンツ帝国の戦いのためオアシスの道がとだえ、紅海貿易も衰えた。そのため、貿易商品がアラビア半島西部を経由するようになり、国際的な中継貿易を独占できたから。				
	【2点】				
(2)	ウ、エ (順不同)	(3)	ヒジュラ (聖遷)	【2点】	
(4)	地租 (ハラージュ)、人頭税 (ジズヤ)	【完答2点】			
(5)	(名称) マムルーク	(説明) カリフは、騎馬戦士としてすぐれていたトルコ人の軍人奴隷			
	【1点】	を親衛隊として用いた。	【1点】		
(6)	タージ=マハル	【2点】			
(7)	アクバルはヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融合をはかり、みずからヒンドゥー教徒の女性と結婚し、非イスラーム教徒に課されていた人頭税 (ジズヤ) を廃止してヒンドゥー勢力を味方につけた。アウラングゼーブはイスラームに深く帰依し、ヒンドゥー教寺院の破壊を命じ、人頭税を復活するなどヒンドゥー教徒を圧迫して反発をまねいた。				
	【4点】				

科 目	世界史解答用紙	2枚中の2	受験 番号	氏 名
--------	---------	-------	----------	--------

(2020年)

4 【32点】

【各1点】

a	フィリッポス2世	b	カイロネイア	c	ダレイオス3世
d	ディアドコイ	e	世界市民主義(コスモポリタニズム)	f	ヴァンダル
g	東ゴート	h	ブルガール	i	ギリシア
j	ラクスマン	k	プガチョフ	l	フランス
(1)	ア 【2点】	(2)	パルティア(安息)【2点】		
(3)	オクタウィアヌスが、アントニウスと結んだクレオパトラ率いるプトレマイオス朝エジプトを前31年のアクティウムの海戦でやぶった。 【3点】				
(4)	クシャーナ朝時代にガンダーラ地方で仏像を制作(ガンダーラ美術)。 【2点】				
(5)	中国から養蚕技術がもたらされた結果、絹織物業が盛んとなった。 【2点】				
(6)	教皇インノケンティウス3世により提唱された第4回十字軍は、ヴェネツィア商人の要求に応じ、商業上対立していたコンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建てた。 【3点】				
(7)	ロシア皇帝ピョートル1世は、1689年に清とネルチンスク条約を結び、スタノヴォイ山脈とアルグン川を国境とした。また、18世紀前半にはカール12世率いるスウェーデンとの北方戦争に勝利し、バルト海の覇者となった。 【2点】				
(8)	条約名	トルコマンチャイ条約 【1点】	王朝名	カージャール朝	【1点】
(9)	ア 【2点】				

5 【8点】

(1)	(例) 国連ルワンダ支援団は、武装民兵によるトウチに対する残虐行為が行われる情報をつかんでおり、それを防ぐことができる可能性があったにもかかわらず、結局ジェノサイドを防げなかったこと。 【2点】
(2)	ナチス=ドイツによるユダヤ人虐殺のこと。 【2点】
(3)	ボル=ポト政権 【2点】
(4)	宗教・言語などをめぐる民族間の対立が激化し、ソ連の解体により共産主義政党の影響力が低下したこと。 【2点】

6 【8点】

1812年から	米英戦争により	英から	経済的独立を	果たした	米国は、
「明白な天命」	を掲げ	西部開拓	を進めた。	民主主義	を進めた
ジャクソン大統領	の時には	1830年に	強制移住法	が制定され、	先住民を
保留地へと	追いやった。	西部開拓	が進む中で、	自由貿易と	奴隷制
存続を主張する	南部と	保護貿易と	奴隷制	廃止を	主張する
北部との	対立が	深まり、	南北戦争	が勃発した。	勝利した
北部を	中心に	工業化	がさらに	進み、	1869年に
は	初の	大陸横断	鉄道も	完成した。	1890年
頃に	フロンティア	が消滅	すると	海外進出	の動き
が高まり、	マッキンリー	大統領	の時代の	1898年	には
米西戦争	に勝利	して	フィリピン、	グアム、	プエ
ルトリコ	を獲得	し	帝国主義	政策を	徐々に
進めて	いった。				